



ようらん
揺籃

揺籃(ようらん)とは「ゆりかご」のことです。本校の校歌の一節に「霊の揺籃 わが母校」とあります。中条校は、生徒の皆さんにとって精神(魂)をすこやかに育む「ゆりかご」でありたいと思っています。

■体験入学実施しました！



↑生徒会から学校説明



↑1年生から学校生活説明



↑全体会の様子



↑体験授業【英語】



↑体験授業【情報】



↑受付の様子



↑入試等の説明

9月23日(金)、中条校の体験入学を実施しました。副校長の挨拶の後、生徒会の役員がスライドを使って一年間の学校生活について行事を中心に説明を行いました。スライドを通して中条校の特徴である「一人一人が主役」、「一人一人が個性を生かせる学校」であることを自分の言葉で伝えていて、中条校をよく理解した上で、自分の学校を素直にアピールしている姿がとても頼もしいと感じました。また、当日は在校生が受付や案内の係を担当し、その丁寧な対応の姿に多くの参加者の皆さまからお褒めの言葉や感想を頂戴しました。在校生にとっても、このような体験が自信をつける大きな機会とすることができ、まさに中条校が大切にしている教育活動の一場面でした。参加してくれた中学生の皆さんが、中条校でこのような体験を積んでさらに成長してくれたら嬉しいと感じています。中学生のみなさん、今日の体験入学をとおして自分にHitするものがあったら、ぜひ中条校を選んでください。

＜参加生徒の感想から＞

- ・生徒会のみなさんによる学校紹介では、学校の主な行事や雰囲気がよくわかりました。少人数ならではの特色があるんだなと思いました。文化祭では、生徒のみなさんがとても楽しそうでした。

＜参加保護者の感想から＞

- ・少人数で生徒の学力に沿った学習をしていただけることに魅力を感じます。
- ・地域と密着した学校と感じました。少人数で中条ファミリーのように感じました。自然と親しみながら学習を行っているようです。

■「中条地区ふれあいまつり」に参加しました！



9月11日(日)、中条老人福祉センターと中条屋内運動場を会場に行われた「第29回中条地区ふれあいまつり」に有志の生徒と職員で参加してきました。このお祭りは、中条地区が「福祉のまちづくり」をめざし、七二会・小田切地区とも連携を図りながら毎年開催しているものです。手品あり、ダンスあり、歌謡ショーありのとても賑やかなお祭りです。このお祭り会場に設けられたブースの一つに中条校も毎年参加させていただいています。今年は生徒会を中心に検討した結果、「バルーンアート体験コーナー」を設けることにしました。といっても、バルーンアートについては全員素人。当日早めに会場に集合し、到着した人から順次説明書を見ながら試作品作りに取りかかりました。頑張った甲斐あって、開場時には、スタッフ全員が「犬」「キリン」「うさぎ」など基本形を概ね作ることができるようになり、お客さんを迎える準備が整いました。開場後まもなくして小さなお子さんが集まり始め、高校生に教わりながら作品づくりを体験をする人、高校生が作った作品を持ち帰る人、などなど様々でしたが喜んでいただけたようでした。途中、あるお子さんから、「剣を作ってほしい」という要望をいただいて、汗をかきながらも説明書には載っていない作品を工夫して生み出す場面もありました。中条校生の素敵な姿を見ることができた一日となりました。